

新型コロナウイルス感染症対策に伴う火災予防について

現在、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、多くの方が**感染予防**に取り組むとともに、「**新しい生活様式**」を実践しているところです。

しかしながら、新型コロナウイルスの感染予防をしているのに、**火災が発生する危険や火災による被害が拡大してしまう可能性**もあるのです。

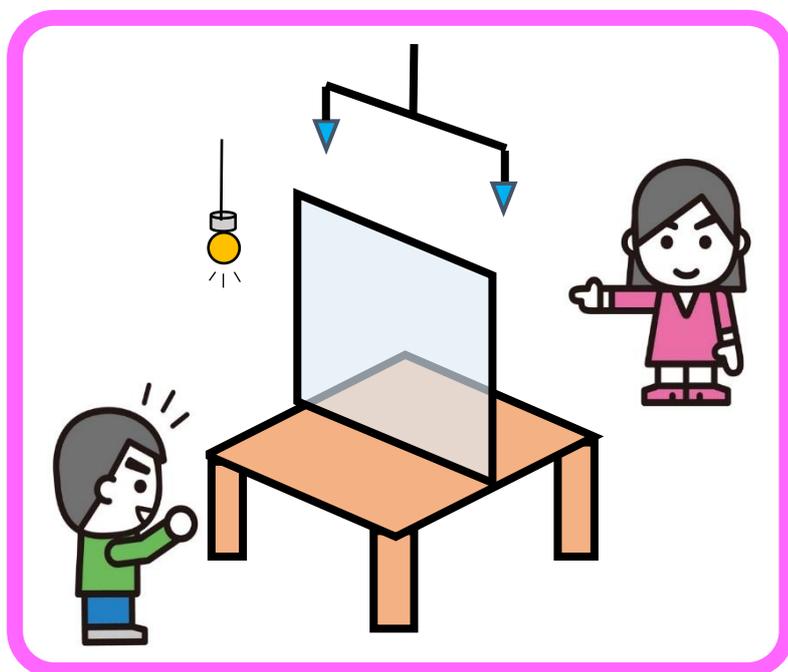
新型コロナウイルス感染症から命を守るとともに、**火災からも命を守る**行動をお願いします。

1、飛沫防止用のビニールシートについて

- ① 火気を使用する設備や器具、白熱電球などの熱源となるものの近くには原則設置しないようにしてください。

ただし、これらの近くに設置することが感染予防対策として必要な場合は、燃えにくい素材（難燃性、不燃性、防災製品など）を使用しましょう。（※ 難燃性、不燃性、防災製品などの情報については、製造者等の製品仕様を確認しましょう。）

- ② 同じ素材であれば、薄いフィルム状のものに比べて板状のものの方が防火上は望ましいです。
- ③ スプリンクラー設備の散水障害や自動火災報知設備の未警戒部分が生じないように設置しましょう。
- ④ 避難の支障にならないように設置しましょう。



2、消毒用アルコールについて

新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、手指の消毒などのため、消毒用アルコールを使用する機会が増えていますが、**一般的な火災予防上の特徴**として、次の特徴があります。



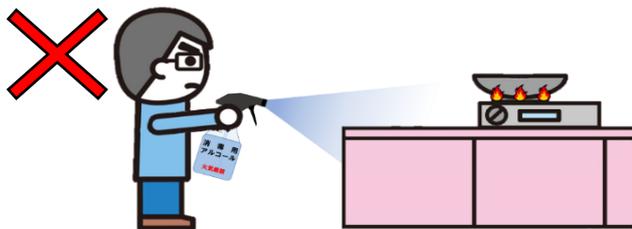
火気に近づけると引火しやすい！



アルコールから発生する可燃性蒸気は、空気より重く、**低いところにたまりやすい！**

火災予防上の一般的な注意事項

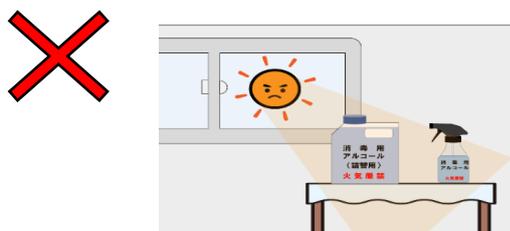
- ☆ 消毒用アルコールを使用するときは、火気の近くで使用しないようにしましょう。



- ☆ 消毒用アルコールを容器に詰め替える場合は、漏れ、あふれ又は飛散しないよう注意しましょう。また、詰め替えた容器に“消毒用アルコール”や“火気厳禁”などの注意事項を記載してください。



- ☆ 消毒用アルコールの容器を設置・保管する場所は、直射日光が当たる場所や高温となる場所は避けましょう。



- ☆ 消毒用アルコールの容器を落下させたり、衝撃を与えることのないように気をつけてください。



- ☆ 室内の消毒や消毒用アルコールの容器詰替えなどにより、アルコールの可燃性蒸気が滞留するおそれがある場合には、通気性の良い場所や換気が行われている場所で行いましょう。

また、密閉した室内で多量の消毒用アルコールの噴霧を行うことは避けましょう。



3、在宅勤務やテレワークについて

在宅勤務等によって、**防火管理者や火元責任者が不在**となったり、**少人数での勤務**となる店舗や事業所が増えることが予想されますので、防火管理体制を再確認しましょう。

- 1 火を使用する設備及び器具は、火元責任者が不在であっても適切に管理しましょう。
- 2 本来の自衛消防組織の業務のみにとらわれずに、一人一人が119番通報、初期消火、避難誘導ができるよう、少人数における消防訓練も実施するように心がけましょう。

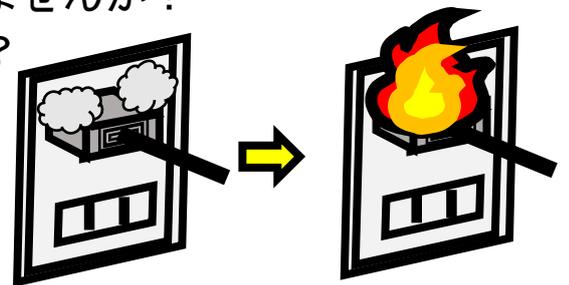


4、営業時間短縮や臨時休業について

感染拡大防止対策として、やむなく営業時間短縮や臨時休業をせざるをえない状況となり、店舗や事業所が無人となることが予想される場合は、次のことに注意しましょう。

1 火気や電気の確認をする

- ・ コンセントの周りにほこりは付いていませんか？
- ・ 電源プラグの接続に緩みはないですか？
- ・ ガスの元栓は閉めましたか？



2 放火対策をする

無人となった店舗や事業所に放火されないように施錠を必ず確認し、建物の周囲には、ごみなどの燃えやすい物品は置かないように心がけましょう。

